

令和2年8月25日

静岡県庁社会部 各報道機関 御中

浜松市政記者室 各報道機関 御中

国立大学法人静岡大学長 石 井 潔

<取材のご案内>

**静岡大学「心身健康創造学」連続セミナーを開催
ーコロナ騒動から考える心身の健康・ケアと新しい高齢社会のデザインー**

静岡大学がこれまで開催してきた「心身健康創造学」連続セミナーを『静岡大学ケア情報学研究所』の主催イベントにリニューアルし、第1回を下記の日時にて開催します。

今回のセミナーは、静岡大学ケア情報学研究所の設立後初の開催となりますので、桐山伸也所長から同研究所の取り組みを紹介します。

続いて、一般社団法人未来医療研究機構の長谷川敏彦代表理事を招き、多面的に新型コロナウイルスについてお話しいただき、心身の健康・ケアと新しい社会のデザインについて議論します。

ご多忙のところ、恐縮ではございますが、是非、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

【日 時】令和2年8月27日（木）17時00分から18時30分まで

【場 所】静岡大学 浜松キャンパス 共通講義棟 共11教室

【テーマ】「コロナ騒動から考える心身の健康・ケアと新しい高齢社会のデザイン」

【講 師】長谷川敏彦（一般社団法人未来医療研究機構代表理事）

【参加方法】オンライン開催（無料）

※講演会はリモート会議ツール「Zoom」を用いて行います。

【参加 URL (Zoom)】

<https://us02web.zoom.us/j/83698477048?pwd=ZG1vNmxDREhFMUQ1bWdKWfdHenFJUT09>

本セミナー無料でどなたでもご参加できます。当日、参加 URL (Zoom) からアクセスください。

お問い合わせ先

静岡大学ケア情報学研究所

情報学部 准教授 桐山 伸也

TEL 053-478-1472

FAX 053-478-1472

メールアドレス kiriyama@inf.shizuoka.ac.jp

1. 当日のプログラム (8/27)

17:00-17:10 桐山伸也 (静岡大学)

静岡大学ケア情報学研究所の取り組み (10分)

17:10-18:10 長谷川敏彦 (一般社団法人未来医療研究機構)

「コロナ騒動から考える心身の健康・ケアと新しい高齢社会のデザイン」(60分)

18:10-18:30

質疑応答含めた全体ディスカッション (20分)

2. 静岡大学ケア情報学研究所

昨年12月設立。内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)に採択された産学連携プロジェクト。認知症をはじめとする「ケア」に人工知能(AI)を利活用し、みんなが心身ともに健康な暮らしができる社会の創造を目指す。

3. これまでの静岡大学「心身健康創造学」連続セミナー

本セミナーは、これまで5回開催し、からだところの健康(Wellness)を創造するための基礎研究、応用研究、また要素技術から機器サービスまで、幅広いトピックでこれからの心身健康創造学について考える場です。

<http://jiritsu-kyosei.cihcd.jp/view/16>

【第1回】

「みんなが健康で暮らせるまちづくり」をテーマに、前内閣官房地方創生統括官の唐澤剛氏と福祉ネイリストの赤松悠氏が登壇し、自由に意見交換した。

【第2回】

作業療法(OT)の第一人者・京都橘大学の小川敬之教授が登場。「認知症の人の生活行為障害の本質と地域共生社会の構築に向けて」と題する講演で心身の健康と自立共生社会について考えた。

【第3回】

静岡大卒で現ドレスデン工科大学の Ruuska Heikki 氏を招き、計算障害(Dyscalculia)という認知機能障害にフォーカスを当て、その人工知能技術による療養・療育支援について議論した。

【第4回】

元プロ野球選手で元プロゴルファーの高岸佳宏氏を迎え、経営するグラウンドゴルフパークで利用者が元気になるメカニズムやみんなが健康になるまちづくりへの展開などをアットホームに語り合った。

【第5回】

京都大学大学院医学研究科の中山健夫教授を招き、健康・医療に関する問題解決を支援するための情報のデータ化とその利活用を促進する「健康情報学」を紹介した。